企業取引の会計処理と会計数値の変化のコンセプト

企業の取引によって、財務諸表項目（勘定科目）がどのように変化するかを説明します。

以下では、財務諸表項目（勘定科目）は、ゴシックで表記します。例：「**現金預金**」，「**資本金**」

財務諸表項目（勘定科目）には、表示する財務諸表の種類、表示する区分の種類という属性があります。表示する財務諸表の種類は、丸カッコ（ ）内に示します。貸借対照表の場合【貸借対照表科目】は、B/Sと表記し、損益計算書の場合【損益計算書科目】は、P/Lと表記します。また、表示する区分の種類は、四角カッコ〔 〕内に示します。この表示区分については、本書18ページと38ページを参照してください。 B/S：貸借対照表科目 P/L：損益計算書科目

本書第7章

株式発行 [本書：第7章117頁，第10章152頁，第2章26頁]

企業取引

株式会社が株式を発行し、株主から資金を受け入れる。

（払込金額の半額を資本剰余金とする場合）

⇒

会計処理&会計数値変化

「**資本金**」[資本・株主資本]（B/S）と「**資本剰余金（株式払込剰余金）**」[資本・株主資本]（B/S）が増加する。

「**現金預金**」[資産・流動資産]（B/S）が増加する。

（ただし、現金預金は、そのまま置いておかれるのではなく営業活動等で使用される）

銀行借入れ [本書：第7章119頁，第2章24頁]

企業取引

企業が銀行などから資金を借入れる（借金する）。

⇒

会計処理&会計数値変化

「**現金預金**」[資産・流動資産]（B/S）が増加する。

（ただし、現金預金は、そのまま置いておかれるのではなく営業活動等で使用される）

借入金の返済期限が、当期末の翌日から1年以内の場合

→ 「**短期借入金**」[負債・流動負債]（B/S）が増加する。

借入金の返済期限が、当期末の翌日から1年を超える場合

→ 「**長期借入金**」[負債・固定負債]（B/S）が増加する。

過年度に計上し貸借対照表に固定負債として計上されている「**長期借入金**」[固定負債]が、当期末の翌日から1年以内に満期日・返済期日が到来する場合は、「**1年内返済長期借入金**」[流動負債]に振り替えて、計上されます。

社債 [本書：第7章 118頁，第2章 24-25頁，第3章 47頁]

○ 社債発行

企業取引

株式会社が社債を発行し、社債権者から資金を受け入れる。

⇒

会計処理&会計数値変化

「**社債**」[負債] (B/S) が増加する。

「**現金預金**」[資産・流動資産] (B/S) が増加する。

(ただし、現金預金は、そのまま置いておかれるのではなく営業活動等で使用される)

「**社債**」は、発行時点で、償還期限(満期)が当期末の翌日から1年以内に償還日が到来する場合は、流動負債として計上され、1年を超える場合は、固定負債として計上されます。

過年度に発行し貸借対照表に固定負債として計上されている「**社債**」[固定負債]が、当期末の翌日から1年以内に償還日が到来する場合は、「**1年内償還社債**」[流動負債]に振り替えて、計上されます。

○ 社債償還

企業取引

株式会社が社債を償還し、社債権者に資金を返済する。

⇒

会計処理&会計数値変化

「**社債・1年内償還社債**」[負債] (B/S) が減少する。

「**現金預金**」[資産・流動資産] (B/S) が減少する。

社債の償還には、満期償還と途中償還があります。

○ 社債利息

企業取引

株式会社が社債の利息を支払う。

⇒

会計処理&会計数値変化

「**社債利息**」[費用・営業外費用] (P/L) が増加する。

「**現金預金**」[資産・流動資産] (B/S) が減少する。

本書第 8 章

研究開発 [本書：第 8 章 131 頁，第 3 章 45 頁]

企業取引

企業が製品開発等のための研究開発活動に必要な支出を行う。

⇒

会計処理&会計数値変化

「**研究開発費**」[費用・販売費及び一般管理費] (P/L) が増加する。

「**現金預金**」[資産・流動資産] (B/S) が減少する。

特定の研究開発にしか使用できない機械装置を購入した場合、耐用年数が 1 年以上あったとしても、「**研究開発費**」[費用] で処理され、固定資産計上はされません。

M & A

○ 合併・吸収合併の場合 [本書：第 8 章 132 頁，第 2 章 21 頁，第 2 章 26 頁]

企業取引

対象の会社を，吸収合併した。(対価は新規に発行交付する自社の株式とする。)
(払込金額の半額を資本剰余金とする場合)

⇒

会計処理&会計数値変化

吸収合併により，土地・建物・機械装置を取得した場合

「**土地・建物・機械装置**」[資産・固定資産・有形固定資産] (B/S) が増加する。

「**資本金・資本剰余金 (株式払込剰余金)**」[資本・株主資本] (B/S) が増加する。

「**のれん**」[資産・固定資産・投資その他の資産] (B/S) が増加する。

(受け入れ資産等の正味評価額よりも，多い対価を支払った場合に，「**のれん**」が発生する。)

○ 買収：株式の取得による子会社化の場合 [本書：第 2 章 22 頁]

企業取引

株式の取得により，対象の会社を，子会社とした。(対価は現金預金とする。)

⇒

会計処理&会計数値変化

「**子会社株式**」[資産・固定資産・投資その他の資産] (B/S) が増加する。

「**現金預金**」[資産・流動資産] (B/S) が減少する。

「**子会社株式**」は，財務諸表上は，「**関係会社株式**」[資産・固定資産・投資その他の資産] として表示されます。ただし，連結財務諸表上では，連結されている子会社の「**子会社株式**」は，連結手続きで相殺消去されており，連結財務諸表上には現れません。非連結の子会社で持分法を適用している場合は，連結財務諸表上に，「**関係会社株式**」として計上されます。

○ 買収：事業の取得の場合 [本書：第 2 章 21 頁]

企業取引

他の企業の事業を，対価を払って，譲り受けた。(対価は現金預金とする。)

⇒

会計処理&会計数値変化

事業の買収により，土地・建物・機械装置を取得した場合

「**土地・建物・機械装置**」[資産・固定資産・有形固定資産] (B/S) が増加する。

「**現金預金**」[資産・流動資産] (B/S) が減少する。

「**のれん**」[資産・固定資産・投資その他の資産] (B/S) が増加する。

(受け入れ資産等の正味評価額よりも，多い対価を支払った場合に，「**のれん**」が発生する。)

本書第9章

設備投資 [本書：第9章138頁，第2章21頁]

企業取引

工場（土地・建物・機械装置）を取得した。（対価は現金預金とする。）

⇒

会計処理&会計数値変化

「**土地・建物・機械装置**」[資産・固定資産・有形固定資産]（B/S）が増加する。

「**現金預金**」[資産・流動資産]（B/S）が減少する。

減価償却 [本書：第9章144頁，第2章21頁，第3章45頁]

企業取引

有形固定資産について，決算日に1年間分の減価償却費を計上する。

⇒

会計処理&会計数値変化

「**減価償却費**」[費用・販売費及び一般管理費]（P/L）が増加する。

記帳方法が直接法の場合

→ 「**建物・機械装置・備品**など」[資産・固定資産・有形固定資産]（B/S）が減少する。

記帳方法が間接法の場合

→ 「**減価償却累計額**」[資産の評価勘定]（B/S）が増加する。

資産の評価勘定とは，資産の金額の減額する項目のことです。

減損損失 [本書：第9章149頁，第2章21頁，第3章48頁]

企業取引

有形固定資産（工場の建物・機械装置・備品）について，減損損失を計上する。

⇒

会計処理&会計数値変化

「**減損損失**」[費用・特別損失]（P/L）が増加する。

記帳方法が直接法の場合

→ 「**建物・機械装置・備品**」[資産・固定資産・有形固定資産]（B/S）が減少する。

記帳方法が間接法の場合

→ 「**減損損失累計額**（または**減価償却累計額**）」[資産の評価勘定]（B/S）が増加する。

資産の評価勘定とは，資産の金額の減額する項目のことです。

本書第 10 章

新株予約権 [本書：第 10 章 157 頁，第 2 章 27 頁]

○ 新株予約権の発行

企業取引

株式会社が新株予約権を発行し、購入者から資金を受け入れた。

⇒

会計処理&会計数値変化

「**新株予約権**」[純資産] (B/S) が増加する。

「**現金預金**」[資産・流動資産] (B/S) が増加する。

(ただし、現金預金は、そのまま置いておかれるのではなく営業活動等で使用される)

○ 新株予約権の行使

企業取引

新株予約権の保有者が権利行使し、規定金額の資金を、行使者からを受け入れた。

(払込金額の半額を資本剰余金とする場合)

⇒

会計処理&会計数値変化

「**新株予約権**」[純資産] (B/S) が減少する。

「**資本金**」[資本・株主資本] (B/S) と「**資本剰余金 (株式払込剰余金)**」[資本・株主資本] (B/S) が増加する。

「**現金預金**」[資産・流動資産] (B/S) が増加する。

(ただし、現金預金は、そのまま置いておかれるのではなく営業活動等で使用される)

○ 新株予約権の権利行使期間満了・失効

企業取引

新株予約権の権利行使期間が満了し、失効した。

⇒

会計処理&会計数値変化

「**新株予約権**」[純資産] (B/S) が減少する。

「**新株予約権戻入益**」[収益・特別利益] (P/L) が増加する。

ストックオプション [本書：第10章158頁，第2章27頁]

○ スtockオプションの付与と権利確定

企業取引

株主総会決議で、従業員にストックオプションを付与してあったが、権利確定条件が満たされ、権利が確定した。

⇒

会計処理&会計数値変化

「**新株予約権**」[純資産] (B/S) が増加する。

「**株式報酬費用**」[費用・販売費及び一般管理費] (P/L) が増加する。

○ スtockオプションの権利行使

企業取引

ストックオプションの権利が行使され、規定金額の資金を、行使者からを受け入れた。

(払込金額の半額を資本剰余金とする場合)

⇒

会計処理&会計数値変化

「**新株予約権**」[純資産] (B/S) が減少する。

「**資本金**」[資本・株主資本] (B/S) と「**資本剰余金 (株式払込剰余金)**」[資本・株主資本] (B/S) が増加する。

「**現金預金**」[資産・流動資産] (B/S) が増加する。

(ただし、現金預金は、そのまま置いておかれるのではなく営業活動等で使用される)

○ スtockオプションの権利行使期間満了・失効

企業取引

ストックオプションの権利行使期間が満了し、失効した。

⇒

会計処理&会計数値変化

「**新株予約権**」[純資産] (B/S) が減少する。

「**新株予約権戻入益**」[収益・特別利益] (P/L) が増加する。

自己株式 [本書：第10章160頁，第2章26頁]

○ 自己株式の取得

企業取引

株式会社が、自社が過去に発行した株式を、自ら取得した。(対価は現金預金とする。)

⇒

会計処理&会計数値変化

「自己株式」[純資産・株主資本の控除科目] (B/S) が増加する。

「現金預金」[資産・流動資産] (B/S) が減少する。

○ 自己株式の処分（売却）

企業取引

株式会社が保有する自己株式を、処分（売却）した。(対価は現金預金とする。)

⇒

会計処理&会計数値変化

「自己株式」[純資産・株主資本の控除科目] (B/S) が減少する。

「現金預金」[資産・流動資産] (B/S) が増加する。

「資本剰余金（自己株式処分差益）」[純資産・株主資本] (B/S) が増加する。

○ 自己株式の消却

企業取引

株式会社が、取締役会の決議により、保有する自己株式を、消却した。

⇒

会計処理&会計数値変化

「自己株式」[純資産・株主資本の控除科目] (B/S) が減少する。

「資本剰余金」[純資産・株主資本] (B/S) が減少する。

自己株式の消却により減少する資本剰余金の金額は、資本剰余金から会社法上の規定に基づく資本準備金を除いた金額より減額することとなり、その金額が無い場合やマイナスになってしまう場合は、繰越利益剰余金 [純資産・株主資本・利益剰余金] を減少させます。

配当の会計処理 [本書：第 10 章 162 頁，第 4 章 65 頁]

企業取引

株式会社が株主に配当金を支払った。(現金預金による支払いとする。)

⇒

会計処理&会計数値変化

「**利益剰余金 (繰越利益剰余金)**」[純資産・株主資本] (B/S) が減少する。

「**現金預金**」[資産・流動資産] (B/S) が減少する。

営業活動・正常営業循環過程

仕入・生産 [本書：第2章20頁，第5章90-91頁]

企業取引

商品を仕入れた。(現金預金による支払いとする。)

製品を生産した。(現金預金による支払いとする。)

⇒

会計処理&会計数値変化

「**商品**」・「**製品**」[資産・流動資産・棚卸資産] (B/S) が増加する。

「**現金預金**」[資産・流動資産] (B/S) が減少する。

完成品の製品を獲得するためには、製造のための材料費，労務費，経費を購入・支出して，工場で製造を行う必要があります，生産期間の時間がかかります。

販売 [本書：第2章20頁，第3章44頁，第5章90-91頁]

企業取引

商品・製品を，顧客に販売した。(対価は，現金預金の受け取りとする。)

⇒

会計処理&会計数値変化

「**売上**」[収益・売上高] (P/L) が増加する。

「**商品**」・「**製品**」[資産・流動資産・棚卸資産] (B/S) が減少する。

「**売上原価**」[費用・売上原価] (P/L) が増加する。

対価について

対価が，現金預金の受け取りの場合

→ 「**現金預金**」[資産・流動資産・当座資産] (B/S) が増加する。

対価が，手形，掛け，電子記録債権の場合

→ 「**受取手形**」・「**売掛金**」・「**電子記録債権**」[資産・流動資産・当座資産] (B/S) が増加する。

「**受取手形**」，「**売掛金**」および売上に関する「**電子記録債権**」は，売上債権といいます。

売上債権の回収 [本書：第2章20頁]

企業取引

「**受取手形**」・「**売掛金**」・「**電子記録債権**」を，現金預金で回収した。

⇒

会計処理&会計数値変化

「**現金預金**」[資産・流動資産・当座資産] (B/S) が増加する。

「**受取手形**」・「**売掛金**」・「**電子記録債権**」[資産・流動資産・当座資産] (B/S) が減少する。

人件費・経費の支払い [本書：第3章45頁]

企業取引

人件費（給料手当，賞与，福利厚生費，役員報酬など）を支出した。（現金預金払い。）

経費（広告宣伝費，旅費交通費，交際費，水道光熱費，通信費など）を支出した。（現金預金払い。）

⇒

会計処理&会計数値変化

「給料手当」，「賞与」，「福利厚生費」，「役員報酬」，「広告宣伝費」，「旅費交通費」，「交際費」，「水道光熱費」，「通信費」 [費用・販売費及び一般管理費]（P/L）が増加する。

「現金預金」 [資産・流動資産]（B/S）が減少する。